

著名人の自殺報道に関する研究

－ 新聞紙のテレビ番組表の分析－

○ 九州保健福祉大学 藤原幸子 (004526)

キーワード：著名人・自殺報道・メディアのあり方

1. 研究目的

自殺は世界全体における公衆衛生問題である（WHO 2020：iii）。自殺は、その多くが防ぐことができる社会的な問題であるにもかかわらず、世界では毎年約 80 万人が自殺している。このような状況から有効な対策の検討は急務である。本研究は、新聞紙のテレビ番組表に着目し、著名人の自殺報道の特徴について明らかにすることを目的とした。

2. 研究の視点および方法

2020年1月1日から2020年12月31日までのテレビ番組表の番組名および紹介欄から情報を抽出した。「自殺」「自死」という語を含む番組、自殺に結びつく関連事項が使われている、はっきりとは使われていないが自殺を想起させる番組を対象とした。選択基準は、新聞紙のテレビ番組表の内容分析をした先行研究（篁・清水・猫田 2015）に沿って抽出を行なった。先行研究と比較するため、朝日新聞を資料として用いた。

3. 倫理的配慮

「日本社会福祉学会研究倫理規程」を遵守し、研究を実施した。

表1 番組件数の動向

	2004		2005		2006		2007		2008		2020	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	全体 N (%)	著名人の 自殺報道 N (%)
放送局												
テレビ局1	10	13.5	15	19.2	24	11.9	22	17.6	9	9.9	7	7.9
民放	64	86.5	63	80.8	178	88.1	103	82.4	82	90.1	82	92.1
季節												
春 (3月-5月)	27	36.5	18	23.1	23	11.4	48	38.4	28	30.8	17	19.1
夏 (6月-8月)	26	35.1	30	38.5	18	8.9	23	18.4	13	14.3	34	38.2
秋 (9月-11月)	13	17.6	14	17.9	119	58.9	17	13.6	32	35.2	35	39.3
冬 (12月-2月)	8	10.8	16	20.5	42	20.8	37	29.6	18	19.8	3	3.4
曜日												
月	15	20.3	9	11.5	27	13.4	15	12.0	18	19.8	43	48.3
火	21	28.4	17	21.8	40	19.8	45	36.0	13	14.3	16	18.0
水	14	18.9	13	16.7	32	15.8	16	12.8	14	15.4	6	6.7
木	8	10.8	6	7.7	16	7.9	23	18.4	19	20.9	5	5.6
金	8	10.8	10	12.8	50	24.8	10	8.0	5	5.5	5	5.6
土	4	5.4	9	11.5	17	8.4	7	5.6	3	3.3	2	2.2
日	4	5.4	14	17.9	20	9.9	9	7.2	19	20.9	12	13.5
ジャンル												
ドラマ	1	1.4	1	1.3	1	0.5	2	1.6	0	0.0	2	2.2
バラエティ	6	8.1	3	3.8	9	4.5	2	1.6	2	2.2	2	2.2
映画	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1
ニュース	15	20.3	27	34.6	66	32.7	46	36.8	23	25.3	13	14.6
ドキュメンタリー	4	5.4	14	17.9	12	5.9	9	7.2	7	7.7	4	4.5
教養	8	10.8	7	9.0	16	7.9	15	12.0	10	11.0	0	0.0
ワイドショー	40	54.1	26	33.3	98	48.5	51	40.8	49	53.8	67	75.3

(篁・清水・猫田 2015) をもとに筆者作成

4. 研究結果

調査期間中、合計 89 件の自殺報道が存在した。そのうち、著名人の自殺報道は 61 件 (68.5%) であった。20 件 (32.8%) は「自殺」「自死」という語がそのまま使われていた。そのうち模倣を招くように、自殺の手段が記載されている番組が 1 件みられた。

著名人の自殺報道を放送局別に比較してみると、テレビ局 1 が 0 件、他民放局 61 件 (100.0%) であった。内訳は、テレビ局 2 は 15 件 (24.6%)、テレビ局 3 は 12 件 (19.7%)、テレビ局 4 は 17 件 (27.9%)、テレビ局 5 は 0 件、テレビ局 6 は 17 件 (27.9%) だった。月別では、9 月が最も多く 27 件 (44.3%)、次いで 7 月 23 件 (37.7%)、5 月 9 件 (14.8%) の順だった。曜日は、月曜日が最も多く 40 件 (65.6%)、火曜日 12 件 (19.7%) の順であった。著名人の自殺報道は 5 事例認められた。著名人 B は 23 件 (37.7%)、著名人 D は 20 件 (32.8%)、著名人 A は 9 件 (14.8%)、著名人 C は 8 件 (13.1%)、著名人 E は 1 件 (1.6%) だった。著名人 A は民放 3 局で報道されたが、「自殺」「自死」という語を含む番組はみられなかった。著名人 C は 9 月 15 日、1 日集中的に報道された。

5. 考察

自殺を取り扱う番組は研究期間内に継続してみられた。この傾向は先行研究 (篁・清水・猫田 2015 : 78) の知見と一致するものである。「自殺」「自死」という語を含む著名人の自殺に関する番組は、テレビ局により異なるのではなく、著名人それぞれの事例による違いが見られた。著名人 C の報道は 9 月 15 日、1 日集中的に、民放局 5 局のうち、テレビ局 4、テレビ局 5 以外の局で報道された。9 月 15 日は、著名人 B の遺作となったドラマ番組がテレビ局 4 で始まっていることから、WHO『自殺報道ガイドライン』(2019) を踏まえたテレビ局の視聴者への配慮が考えられる。著名人の自殺報道のあり方について、再検討する必要性が認められた。

文献

篁 宗一・清水隆裕・猫田泰敏「一主要新聞紙朝刊のテレビ番組表からみた自殺・メンタルヘルス関連の報道の実態」『日本公衆衛生雑誌』62(2), 2015, 73-81.

WHO (2017). Preventing suicide: a resource for media professionals, Update 2017 自殺総合対策推進センター訳 (2019). 自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017 年 最新版, 自殺総合対策推進センター (<http://www.mhlw.go.jp/content/000526937.pdf> 2023. 6. 13).

WHO (2018). National suicide prevention strategies: progress, examples and indicators. 自殺総合対策推進センター訳 (2020): 国家自殺対策戦略: 進捗, 各国の事例, 指標 (https://jscp.or.jp/assets/pdf/NationalSuicidePreventionStrategies_JSSC_20_03.pdf 2023. 6. 13).